



「なっちゃんの家」は、地域の方々によって運営されています。その根底にあるのは、「地域の子どもは地域で支える」という思いです。さまざまな分野で活動をしている地域住民が、「子どもや保護者の力になりたい」と結集した「なっちゃんの家」。人々がつながる温かな場所を目指して、来場者を笑顔で迎え入れています。

みんながつながる温かな場所を目指して



健やか会
四丸 千鶴子 さん
(武蔵町狭間)

楽しく食べる喜びを
伝えたい

武蔵町で食育活動をしている「健やか会」の有志メンバーで、「なっちゃんの家」のお弁当作りをしています。お弁当は、栄養価が高くて子どもに人気のあるカレーとハンバーグにしました。

毎回「すごくおいしかった」と反響があるので、とても作りがいがあります。健康に暮らす上で欠かせないのが「食」。子どもたちには楽しく食べる喜びや、バランスの良い食事を取る大切さを伝えたいです。今はコロナ禍なのでお弁当を配布していますが、いずれ参加者みんなでテーブルを囲める日が来たらいいなと思っています。



むさしウインドハーモニー事務局
木村 隆英 さん
(日出町・国東町鶴川出身)

自由に演奏を
楽しんでもほしい

「むさしウインドハーモニー」は約30名のメンバーからなる市民吹奏楽団で、武蔵セントラルホールを拠点に活動しています。今年で活動23年目を迎えました。

「なっちゃんの家」では、アニメソングなどを中心に演奏しています。「うちの子は静かに聞けないから」と遠慮する保護者の方もいますが、どうぞお気軽になさらず会場で生演奏に触れてください。手拍子をしたり、歌ったり、体を揺らしたりして、自由に演奏を楽しんでもらって構いません。こうした演奏会を通して、子どもたちが楽器や演奏に興味をもってくれたらうれしいです。



とっぱいカンパニー
南 瑠美 さん 南 さやか さん
(安岐町下山口)

子どもたちの笑顔の
ためにできることを

本業は酒造会社ですが、コロナ禍の中で地域のために何かしたいと考え、昨年から事業所の一角で駄菓子屋を始めました。「なっちゃんの家」など、市内のイベントにも出店しています。一生懸命計算したり、兄弟間でお金をやりくりしている子どもたちの姿は、見ていてほえましいです。

酒造会社として長年商売をしてこれたのも、地元の皆さんのおかげ。そして私たち姉妹も、子育てをしている母親でもあります。地元への感謝の気持ちを忘れず、地域のために、また子どもたちの笑顔のために、できることをしていきたいです。

地域の子どもは地域で支える

私たちが「なっちゃんの家」の運営で大切にしている思いが、「地域の子どもは地域で支える」ということ。「なっちゃんの家」ではイベントも、お弁当作りも、子育て相談も、地域の方々の手で行われています。「なっちゃんの家」を知った地域の方から「何か協力したい」とのお話もたくさんいただくようになり、とてもありがたいです。ボランティア精神にあふれた国東市は良いところだなと、改めて実感しています。

子どもや保護者を
応援する拠点へ

「なっちゃんの家」を開催する目的は、子どもや保護者を応援する拠点づくりです。それは、お友達や地域の方々など、みんなが集まるにぎやかな交流の場。そして、地域ぐるみで子育てを支える場です。

「なっちゃんの家」では、親子で楽しめるイベント（文化体験）を数多く用意しています。夢中になって楽しむ子どもたちを見ていると、こちらも笑顔になりますね。今後は、宇宙港をテーマにした工作や実験などもしたいと考えています。



正本さんは「私も子育てをする母親として、皆さんと一緒に頑張っていきたいです」と話していました。

ここに来れば
みんなとつながれる

来場者から喜びや感謝の言葉をいただくのが、「なっちゃんの家」のやりがいです。将来取り組みたいことは、コロナ禍が落ち着いたらみんなでお料理を作って食べるのと、中高生にも来てもらえるような環境をつくることです。

「なっちゃんの家」を運営して半年が経ち、確かな手応えを感じています。「なっちゃんの家」は、これから子どもや保護者に心のゆとりをもたらすところでありたい。「ここに来ればみんなとつながれる」と思える、温かな場所にしていきたいです。



社会福祉法人 和順会
正本 律子 さん (武蔵町糸原)